

福島の子どもたちを、 放射能を気にせず 自然の中で思いっきり 遊ばせたい！

福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会
2016 年夏 **第5回目**

期 間 2016 年8月15日(月)～8月19日(金) 4泊5日

場 所 富士学園 北富士の忍野村にあり、豊かな自然環境に立地しています。
杉並区立小学校5・6年生が移動教室に使用しています。



福島原発事故から5年。原発事故で自然豊かなふれあいのある暮らしが奪われました。

現在、安倍政権は、年間20ミリシーベルトという高い放射線量を避難基準とし、帰還政策を進めようとしています。今なお続く避難生活、仮設住宅での暮らし、放射能と健康への不安、将来の生活展望がつかめない、そんな被災者の声に応えない政治が続いています。

「もう大丈夫」「安全だ」といった空気のなかで、耳を澄ますと「本当のことを知りたい。子どもを守りたい」という切実な声が聞こえてきます。放射能に汚染された地域で、自由に屋外で遊ぶことすら許されない子どもたちも、まだまだたくさんいる、と聞いています。

私たちは今年も、富士山麓での保養に、福島の親子50名(予定)を4泊5日で招待します。

この事業には毎年合計約250万円ほどの費用がかかります。

福島の子どもの保養事業のために、どうか資金援助へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

資金内訳

交通費(福島の観光バスをチャーター予定で)	往復: 500,000円
宿泊費(1泊8,000円)×4泊×50人	1,600,000円
その他(材料費、学習室使用料、報告書作成など)	400,000円
計	約250万円/概算

郵便振替

[口座記号番号]

00170-7-655815

[加入者名]

福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会



主催：福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会

[代表 長谷川和男/事務局長 斉藤正明]

後援：杉並区/杉並区教育委員会/杉並区社会福祉協議会

連絡先：斉藤 正明 [03-3337-2247]

<http://suginamihoyo.jimdo.com/>



福島の子ども
保養プロジェクト・杉並の会

「福島子ども保養プロジェクト・杉並の会」とは

2011年3月11日の東日本大震災にともない、福島第一原子力発電所が取り返しのつかない大事故に至りました。原発災害はあらゆるものに果てしく長期にわたってダメージを与えることを証明してしまいました。

私たちは、とりわけ未来を担う子どもたちの健康が心配です。保養により放射能の不安から解放され、汚染されていない食事を摂り、子どもらしく健康的に過ごすことは、体内の放射能を排出し、心身の健康を維持するための免疫力、抵抗力を高めることができます。

本来なら、国と加害企業である東電は、子どもたちの健康を守る責任がありますが、現状はほとんど何もなされていません。子どもたちの健康を大切に政治への転換を強く要望しますが、同時に、微力でも私たちは、今できることをしなければならないと考えます。

福島の子どもたちを「将来の放射能禍から少しでも遠ざけたい」という人々の思いを寄せて、福島の子ども保養は各地で取り組まれています。原水禁運動発祥の地である杉並では3.11以降、若者たちを中心とする大規模デモや、市民の力で『脱原発宣言』を発するなど、脱原発への大きなうねりが湧き起こりました。

この「福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会」は、そうした活動のなかから誕生しました。杉並の取り組みの特徴は親子での保養です。お父さん、お母さんも様々なストレスを抱え、子どもたちと一緒にリフレッシュして欲しいという思いです。杉並区・教育委員会・社会福祉協議会の後援や、区内の幅広い諸団体・個人のご支援をいただきながら、2012年の夏から保養を実施しています。

参加者の声



他県への引っ越し一歩が出ないので、少しでも線量避けたくて参加。

保育士や看護師がいるので安心して過ごせた。



福島県民への偏見に恐怖を感じて、県外への旅行を躊躇することもあったが、様々な保養プロジェクトがあることが分かった。



個性豊かなスタッフさん、肝だめしのクオリティの高さ、最高でした！ありがとうございました。子どもたちをよく見て、楽しませてくれたスタッフさんに感謝です。

保養は他とあわせて2回目でしたが、時間がゆっくりで、小さい子どもがいるので助かりました。パパも参加できるお盆の時期だったので、子どもの注意も半分になったのもゆっくりゆっくり過ごすことが出来ました。スタッフの方はお盆で、家族と過ごすことができなかったと思います

思いっきり汗をかいて遊ぶ子どものあるべき姿を見て、また福島での生活を考えると、複雑な気持ち。



がっこうのときだけそとにでられないです。やま、くきやくさをさわられて、うれしかったです。またきたいです。

1ねんせい



この事業には毎年合計約250万円ほどの費用がかかります。
福島の子どもの保養事業のために、どうか**資金援助へのご協力**をよろしくお願い申し上げます。

資金内訳

交通費（福島の観光バスをチャーター予定で）	往復：500,000円
宿泊費（1泊8,000円）×4泊×50人	1,600,000円
その他（材料費、学習室使用料、報告書作成など）	400,000円
計	約250万円／概算

郵便振替

[口座記号番号]

00170-7-655815

[加入者名]

福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会

主催：福島の子ども保養プロジェクト・杉並の会 [代表：長谷川和男 事務局長：斉藤正明] <http://suginamihoyo.jimdo.com/>
連絡先：〒166-0002 杉並区高円寺北3-12-1 斉藤正明 TEL:03-3337-2247
後援：杉並区／杉並区教育委員会／杉並区社会福祉協議会

カンパの
お願い